

●台湾ツアー ●牟さんのこと ●キュルンホーン宣教師と「台湾ホロコースト記念館」



10月8日、台湾でのコンサートから無事大阪に戻りました。

今回のコンサートは、「台湾長老教会刷新協議会」が教会刷新を目的として主催しました。コンサートでは、刷新協議会会長の謝牧師と、「ミッション・宣教の声」主幹であり、AKMM 世話人代表でもある黒田禎一郎牧師が、みことばを語ってくださいました。台北（双連教会、ばんか教会）、羅東、桃園、台南、高雄の台湾主要都市を毎日移動するという、大変なハードスケジュールでしたが、祈りの中で日々主の語りかけを受け、最後まで、主の導きの中で賛美と証しをさせていただくことができました。背後で祈ってくださった皆様のおかげです。ありがとうございました！

今回は、台北で大型台風に遭遇しました。5日の高雄でのコンサートの後、あわてて、車で台北に戻りました。翌日、台北はものすごい暴風雨となりました。けれども、丁度この日はコンサートのない日だったので、かえってスタッフの皆さんと、ホテルでゆっくり休息させていただくことができ、貴重な安息日となりました。

(写真：桃園市 迦南教会にて、左から、通訳の莊田さん、ピアノ伴奏のムー(牟)さん、私、謝牧師、チョー牧師、迦南教会の長老、黒田牧師)

●ムー(牟)さんのこと

さて、今回、コンサートでピアノ伴奏をしてくれたのは、ムーさんこと、牟維華 (Oriole W.H. Mou) さんでした。彼女は、ピアノを弾くだけでなく、歌、作曲も手がけるマルチ・ミュージシャンです。聖書のみことばに曲を付けて、自分で弾き語りながら、これまで13枚のCDを制作してきました。台湾のキリスト教界では有名な人です。しかしながら、彼女の才能は音楽だけではありませんでした。ムーさんは、何とマンガも書くのです。その伝道マンガを一般の喫茶店に置かせてもらい、みことばの紙片を入れたケーキをお店に卸して伝道しています。

ムーさんがマンガを書くきっかけになったのは、17歳の時、腕に障害を起こして、数年ピアノが弾けなくなった時です。それまで、ピアノ



で主を賛美してゆこうと思っていたムーさんは、非常に苦しんだそうです。そのような苦しみの中で、ムーさんはマンガを描き始めるようになりました。誰にも習わなかったそうですが、彼女の腕は、プロ級です。今では、主に与えられた賜物すべてを用いて、伝道の働きをするようになりました。

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。(ローマ 8:28)

どうぞ、若きアーティスト伝道師ムーさんの今後の働きのために、皆さんも覚えてお祈りください。

(写真: ムーさんの伝道マンガの表紙)

●キューンホルン宣教師と「台湾ホロコースト和平記念館」

台南でのコンサートの翌日の昼、同市の教会で牧会なさっているドイツ人のキューンホルン宣教師と一緒に食事をいただきました。彼のおじいさんは、ナチス・ドイツの重鎮でした。その孫であるキューンホルン宣教師は、ユダヤ人伝道に大きな重荷を持ち、牧会のかたわら、ユダヤ人伝道の働きにも携わっています。



キューンホルン宣教師の話しを聞きながらイザヤ 60:14 のみことばを思い出し、「あなた(ユダヤ人)を苦しめた者たちの子らは、身をかがめてあなたのところに来る。」と言いましたら、キューンホルン宣教師は「アーメン！」と大きくうなずきました。



その後、それとは知らずに、謝先生が連れて行ってくださったのは、「台湾ホロコースト和平記念館」でありました。台南市の車路乾教会(ほんとうは「乾」の字に「土」ヘンが付きます)のチョー(卓)牧師が、主から導きを受け、2002年、教会の2階に「ホロコースト和平記念館」を建てました。

一室には、奇しくも、ヒットラーの後ろに立つキューンホルン氏(宣教師のおじいさん)の写真と、その横には、ユダヤ人のために働くキューンホルン宣教師の写真が展示してありました。

記念館を視察しながら「レマン・ツィオン」の歌が心に響きました。

シオンのために、わたしは黙っていない。エルサレムのために、黙りにこまない。

その義が朝日のように光を放ち、その救いが、たいまつのように燃えるまでは。

(イザヤ62:1)

(写真左上:真ん中がキューンホルン宣教師、その右がお子さんと奥様 / 写真右:「ホロコースト和平記念館にて、設立者のチョー(卓)牧師と、展示してあるのは囚人服)

その夜の高雄でのコンサートの後、「第二次世界大戦では、日本兵として戦いました」とおっしゃる老齢の方の言葉に、この秋、日本のために戦ったことで天皇陛下から叙勲を受けるという札幌の父に比べ、日本のために日本人として戦った 277,830 人の台湾人の元日本軍人とその遺族は、これまで何の褒章、補償も受けていないことを思いました。日本が大きく関わった台湾に大きな負い目を感じ、一人の日本人クリスチャンとして、福音というお返しをさせていただきたい、いや、お返ししなければならないという責務に近いものを感じながら、日本に戻りました。

●お祈りください！

14日からいよいよ日本での賛美コンサートが始まります。どうぞ以下の10月の予定のためにお祈りください。

10月14日(日) 北浜インターナショナル・バイブル・チャーチ 讚美礼拝 10:30~
連絡先:06-6226-1334

10月15日(月)~17日(水) AKMM リトリート

10月21日(日) 横浜 篠原教会 創立70周年記念コンサート 15:30~17:00
連絡先:教会 045-421-5405

10月25日(木) AKMM 主催ベツレヘムのアラブ人クリスチャン経営の障害者施設ハウス・オブ・ホープ 救援
チャリティー・コンサート VIP 関西センター9F 連絡先:06-6226-1334 18:30~

10月28日(日) 日本イエス・キリスト教団八幡福音教会 チャペル・コンサート 14:00
連絡先 Tel.教会 0748-32-5650

それでは、また2週間後に、メルマガをお送りさせていただきます。
主の祝福と恵みを、心からお祈りしています。

工藤篤子